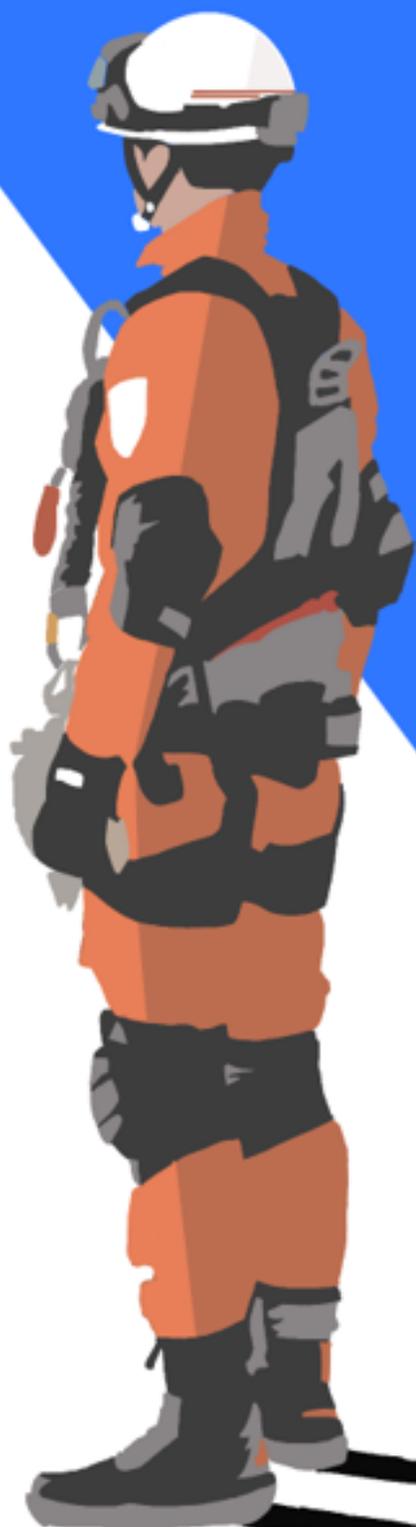


2025年 藤沢市消防局 採用案内



新しい

未来の

カタチ。

**2025年4月上旬
エントリースタート!**

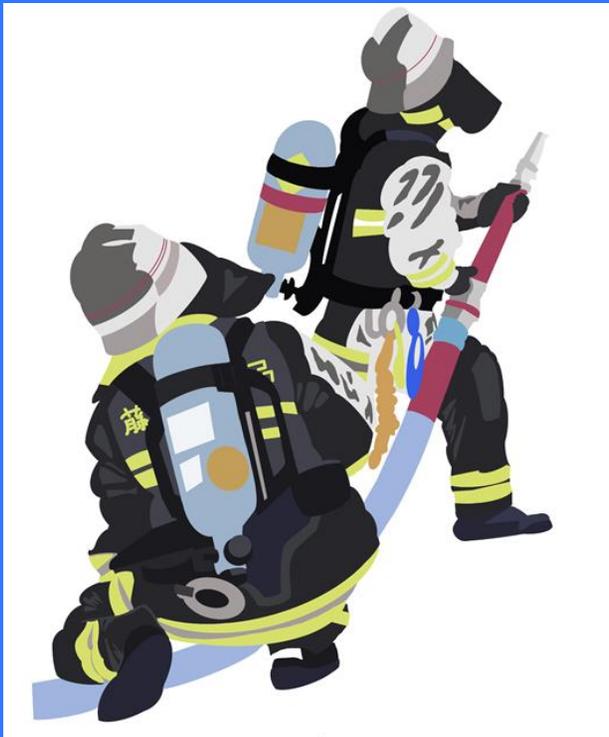
人命は
命の力で
守り抜く。

FUJISAWA CITY FIRE BUREAU



- 1. 藤沢消防について
- 2. 藤沢消防が進める主な取組
- 3. 3年目職員インタビュー
- 4. 採用試験について
- 5. 2025年度採用スケジュール

藤沢消防について



藤沢消防は、職員約480人で構成され、2つの消防署、13出張所等、救急ws、消防防災訓練センターなどの施設があります。消防車両120台超を有し、遠距離送排水システム車や江の島救急車など**多彩な車両**を運用しています。また、高度救助隊や鵜沼水難救助隊、機動救急隊など**地域特性**や**時代に即した**部隊編成を行っています。

女性活躍を推進し、人材育成にも力を注いぎ、また、「**心理的安全性**の高い組織」を確立するため、職員間がコミュニケーションをしっかりと取り合うことのできる環境づくりを目指しています。

藤沢消防は、未来を的確に見据え、**アップデート**し続けています。



藤沢消防が進める主な取組



○将来を見据えた人材育成

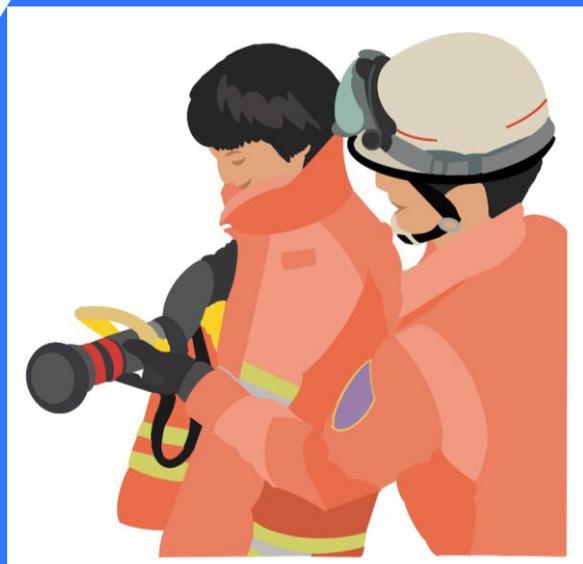
心理的安全性の高い組織を構築することで、将来を見据え、市民の安全・安心を守る消防の任務を果たせるよう人材育成の強化を図ります。

○消防・救急体制の確立

激甚化・頻発化する自然災害や増加する救急需要から市民の安全・安心を常に確保するために、消防・救急体制の強化を図ります。

○消防DXの推進

職員の作業効率化と市民の利便性を高めるためにデジタル技術を活用したDXを推進しています。



3年目職員インタビュー



「信頼される存在に」 明治出張所 小須田消防士

【タウンニュース藤沢市消防局特別号
2025掲載記事抜粋】

地域を守る消防士の役割は多岐にわたる。

小須田消防士は、災害対応だけではなく、署の受付業務なども行う。市内の建物への立入検査では、消火器の使用期限の確認や避難経路を確保できているかなどをチェック。平常時から、まちの安全・安心を守るためには欠かせない立場を担っている。

救急活動では、事故や災害が起きたとき、処置する対象が重傷・過体重である場合に支援する「消防隊救急支援出動」に携わる。凄惨な現場に立ち会わなければならない場面もあり「雨の中、車両の下敷きになった人を救助したときは、体力・精神ともに辛かった」と振り返る。

小須田消防士を日々支えるのが、市民からの感謝の言葉だ。救助者から「女性がいてくれて安心しました」と声が寄せられた際には、「この仕事をやっていてよかった」と改めて感じたという。

中学生の時、救急救命士の課外授業を受け、その最中に体調悪化で倒れた同級生に応急措置を行った救命士の姿に憧れを抱いた。「人の役に立ちたい」という思いは、その頃から変わらない。今後の目標は「より市民から信頼される隊員になること。この人たちだったら藤沢を任せられると思ってもらえるようになる」と誓った。

3年目職員インタビュー

「強み生かし、冷静に」 六会出張所 青木消防士

【タウンニュース藤沢市消防局特別号
2025掲載記事抜粋】



入庁して3年目を迎えた青木消防士は、急病人のもとや事故の現場に駆けつけ、医療機関への搬送や命を救うための処置を行う「救急救命士」。

「救命の最前線で働くキラキラした世界を想像していた」と医療系の道を目指す中、救急隊員を志した。「ただ実際は過酷な現場がほとんどだった」。入隊したての頃は悲惨な場面を見て、何も食べられなくなったり、夜眠れなくなったりしたことも。しかし、つらい経験を重ねた今では「自分が努力しなければ命は救えない」と日々の訓練や勉強を決して怠らず、「どんな現場でも冷静な判断ができる消防士になりたい」と意気込む。

3年制の専門学校で救急救命士の資格を取得し、市消防局に入庁。その後の消防学校では、厳しい訓練にも耐え抜いてきた。それでも男性隊員と比べると体力差があるため「先輩たちに支えられている」と謙虚に語る青木さんだが、「女性隊員だからこそできることもある」と強調する。救助対象が男性恐怖症や妊婦である場合などは、対応に苦慮することもある。「女性がいてくれて良かった」。そう言われ、やりがいを感じた瞬間を噛みしめながら、「自分の強みを生かし、私にしかできないことを増やしていく」と前を向いた。

3年目職員インタビュー

「どこまでもストイックに」 鶴沼出張所 萩原消防士



海や河川などの水域で事故が発生した際、専用の資機材を活用しながら行方不明者を救出する「水難救助隊」。市内では、南消防署 鶴沼出張所のみ配置されている。日々厳しい鍛錬を欠かさず、決死の思いで奮闘する隊員の一人が、萩原消防士。今春入隊したばかりの新人だ。

夏の日差しが照りつける8月下旬、水深約3mのプールで、隊員たちは真剣な顔で訓練に臨んでいた。ゴーグルやシュノーケル、ウェットスーツを装備し、重さ20kg以上にも及ぶ潜水タンクを背負って入水。水中で言葉は通じないため、ジェスチャーで確認していた。実際の現場はプランクトンなどで水が濁っており、より視界は遮られる。

常に危険と隣り合わせの状況で最大限の力を発揮するためにも、基礎はもちろん、水上オートバイや水中探査装置を操るスキルも磨く。群馬県出身の萩原さん。中高大と水球に打ち込み、「湘南は憧れの地だった」と振り返る。

市消防局に水難救助隊があることを知り、潜水士の資格を取得後、試験に合格。訓練では熱中症になったこともあるというが、「人の命を救う最前線に立てることはやりがい」と特殊な環境でも冷静かつ迅速に対応できるよう訓練に励んでいく。

【タウンニュース
藤沢市消防局特別号
2025掲載記事抜粋】

3年目職員インタビュー

「オレンジ色の服に誇り」北消防署 板垣消防士



【タウンニュース
藤沢市消防局特別号
2025掲載記事抜粋】

交通事故で車両に閉じ込められた人や火災で逃げ遅れた人などを助ける人命救助の第一線を担う救助隊。北消防署に所属する板垣消防士は、今年4月に念願のレスキュー隊員になった。

高度な救助技術が求められる、さまざまな人為災害や自然災害の現場を想定した訓練に日々勤しむ。ひとたび救助要請があれば、緊張が走る。1分1秒を争う状況下で迅速かつ的確な判断と行動で対処しなければならない。危険を伴う現場では自らの安全を確保することも活動の鉄則だ。「チームワークが欠かせない」と仲間に信頼を寄せ、任務を遂行。

「一緒にいる時間が長いので、同じ隊の仲間は第2の家族のような存在」と笑みをこぼす。「体を動かすことが好きな性分を、人を助ける仕事に役立てたい」。7歳から大学まで空手道で体力と精神力を培った。消防士の叔父に憧れ、中学生のときに職業体験で南消防署を訪問してから約10年。今は、消防士を夢見る中学生らを迎える立場にいる。

「消防の仕事は市民とじかに接し、頼りにされていることを実感できる。過酷な現場もあるが、やりがいは大きい」と充実感を語る。人命救助のプロが着用するオレンジ色の活動服を誇りに、市民の生命と財産を守るのが使命だ。

採用試験について



藤沢消防の採用試験の流れ

SPI試験



体力測定・
面接等



最終面接



採用!



藤沢消防の求める人材とは??

「**変革性・チャレンジ精神**」

「**情熱と誇り**」



社会の変化は著しいです。新型コロナウイルスの世界的な流行、多発する地震など多くの災害。数年後、数十年後、どのような日本社会になっているか、だれも予想が付きません。

それでも、我々はその変化に対応し、市民を守るため、乗り越えてきました。

どんな社会がやってきても、柔軟な考え方をもち、様々な困難に直面しても逃げずに果敢に挑戦できる、「人を助ける」ことに情熱を持ったそんな仲間と命を懸けて市民を守りたい!! 消防局のおもいです。

採用スケジュールについて

4月上旬

大卒申込開始

4月から
6月頃

1次試験～3次試験

7月頃

大卒合格発表

8月上旬

高卒・短大卒申込開始

8月下旬
から11
月下旬

1次試験～3次試験

12月頃

高卒・短大卒合格発表



藤沢市消防局

〒251-8601神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

☎ (0466) 50-3576